安全データシート
（SDS）

制定　2011年10月21日
改訂　2014年06月25日

1. 化学物質等及び会社情報

製品名　ｿﾙﾀﾞｰｸﾘｰﾑ 63-GM155-GK

会社情報

会 社 名	株式会社 ニホンゲンマ
住　　所	大阪市淀川区三津屋北 2-16-4
担 当 部 門	技術部
担 当 者	竹中　順一
電 話 番 号	06-6302-1251
ﾌｧｯｸｽ番号	06-6302-1250
ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ	ingm006@k7.dion.ne.jp

作 成 番 号	SDS- N030202
推奨用途及び使用上の制限	電子部品の基板実装用

2. 危険有害性の要約

GHS分類

＜物理化学的危険性＞

火薬類	分類対象外
可燃性/引火性ｶﾞｽ	分類対象外
可燃性/引火性エアゾール	分類対象外
支燃性/酸化性ｶﾞｽ	分類対象外
高圧ｶﾞｽ	分類対象外
引火性液体	分類対象外
可燃性固体	分類できない
自己反応性化学品	分類対象外
自然発火性液体	分類対象外
自然発火性固体	分類対象外
自己発熱性化学品	分類対象外
水反応可燃性化学品	分類できない
酸化性液体	分類対象外
酸化性固体	分類対象外
有機過酸化物	分類対象外
金属腐食性物質	分類できない

＜健康有害性＞

急性毒性(吸入：経口)	区分外
急性毒性(吸入：経皮)	区分外
急性毒性(吸入：気体)	区分外
急性毒性(吸入：蒸気)	分類できない
急性毒性(吸入：粉塵およびﾐｽﾄ)	分類できない
皮膚腐食性/刺激性	区分外
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	区分1
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	区分1
生殖細胞変異原性	区分外
発ガン性	区分外
生殖毒性	区分外
特定標的臓器毒性(単回)	区分2
特定標的臓器毒性(反復暴露)	区分1
吸引性呼吸器有害性	分類できない

＜環境有害性＞

水生環境有毒性(急性)	区分外
水生環境有毒性(慢性)	区分外

ラベル要素

絵表示

注意喚起語　　危険

危険有害性情報

H312 皮膚に接触すると有害(経皮)
H318 重篤な眼の損傷
H340 遺伝性疾患のおそれ
H351 発がんのおそれの疑い
H360 生殖能または胎児への悪影響のおそれ
H372 長期または反復暴露による臓器の障害

注意書き

予防策
・使用前に取扱説明書を入手すること。(P201)
・すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。(P202)
・粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。(P260)
・取扱後は手をよく洗うこと。(P264)
・この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。(P270)
・保護手袋/保護衣/保護眼鏡／保護面を着用すること。(P280)
・指定された個人用保護具を使用すること。(P281)

措置
・皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。(P302+P352)
・眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338)
・暴露または暴露の懸念がある場合：医師の診断／手当を受けること。(P308+P313)
・直ちに医師に連絡すること。(P310)
・気分が悪い時は、医師に連絡すること。(P312)
・気分が悪い時は、医師の診断／手当てを受けること。(P314)
・汚染された衣類を再使用する場合は洗濯すること。(P363)

保管
・容器を密栓して保管すること。(P405-1)

廃棄
・内容物／容器を国／都道府県／市町村の規則に従って廃棄すること。(P501)

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別　混合物
化学名または一般名　ソルダペースト
成分

物質名	化学式	CAS No	官報公示整理番号	含有量wt%
錫	Sn	7440-31-5	対象外	57
鉛	Pb	7439-92-1	対象外	33
変性ﾛｼﾞﾝ	−	−	7-946	3.2
変性ﾛｼﾞﾝ	−	−	7-937	1.8
ｸﾞﾘｺｰﾙ系溶媒	−	−	7-97	2.4
ｸﾞﾘｺｰﾙ系溶媒	−	−	7-97	1.3
添加剤	−	−	−	1.3

4. 応急措置

眼に入った場合　清浄な水で充分に洗眼し、その後必要に応じて医師の手当を受ける。
皮膚に付着した場合　石鹸水でよく洗浄する。
吸入した場合　直ちに新鮮な空気の場所に移動する。
飲み込んだ場合　直ちに吐出し、その後必要に応じて医師の手当を受ける。

5. 火災時の措置

消火剤　ドライケミカル、エアフォーム、二酸化炭素(水系は除く)
特定の消火方法　消火はできるだけ風上から行い、付近の着火源を速やかに取り除く。
使っては成らない消火剤　水。金属が溶融している時は注水厳禁。
消火を行う者の保護　消火時は風上に立ち、呼吸用保護具等を着用して発生ガスを吸入しないようにする。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意　回収作業は風上より行い、保護眼鏡、保護手袋、保護ﾏｽｸなどを着用する。
環境に対する注意　公共用水域に流出しないよう留意する。
除去方法　漏出物は冷却後、掃き取るか又は掃除機で吸い取り、空容器等に回収する。回収物の処理は『13.廃棄上の注意 』を参照、少量の場合は有機溶剤で拭き取り、回収物は上記同様に処理する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い　素手で取り扱っては成らない。作業中は必ず保護眼鏡、マスクを使用する。
注意事項　屋内作業の場合、適切な排気装置を設ける。
保管　冷暗所（10℃以下）に保管する。
避けるべき事項　高温条件、強酸・強酸化剤との接触。

8. 暴露防止及び保護装置

設備対策　使用時は局所排気を行う。

許容濃度　単位 mg/m^3

	日本産業衛生学会 2009年	ACGIH TWA 2009年
錫	-	2
鉛	0.1	0.05
ﾛｼﾞﾝ	-	-

保護具

呼吸器	保護マスク
手	保護手袋
眼	保護(ゴーグル型)めがね

9. 物理的及び化学的性質

外　　観　金属光沢を持つ灰色ペーストでグリコール臭を有する

金属融点	183-184 ℃	揮発性	0.01mmHg/20℃
可 燃 性	可燃物を含む	比　重	4.9
溶解度(水)	ほとんど不溶	主溶剤引火点	126℃
発 火 点	305℃	酸化性	情報無し
発火性(自然発火性、水との反応性)	情報無し	沸点	情報無し

10. 安定性、反応性

安定性	常温では安定
反応性	金属の為、強酸・強酸化剤と反応する。
避けるべき条件	高温条件
危険有害な分解生成物	(鉛) 燃焼の際は、有毒なヒュームやガスを放出することがある。

11. 有害性情報

急性毒性	情報無し
皮膚腐食性/刺激性	情報無し
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	情報無し
呼吸器感作性	情報無し
皮膚感作性	情報無し
生殖細胞変異原性	(Pb) 鉛そのものに染色体異常/小核誘発作用があるとの記述がある。
発ガン性	(Pb) 発がんのおそれの疑い
生殖毒性	(Pb) 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
特定標的臓器毒性(単回)	情報無し
特定標的臓器毒性(反復暴露)	(Sn) 肺に障害のおそれ (Pb) 標的臓器は造血系、腎臓、中枢神経系、末梢神経系、心血管系及び免疫系と考えられる。
吸引性呼吸器有害性	情報無し
水生環境有害性(急性)	情報無し
水生環境有害性(慢性)	情報無し

12. 環境影響情報

移動性	知見無し
残留性/分解性	知見無し
生体蓄積性	知見無し
生体毒性	知見無し

13. 廃棄上の注意

都道府県知事の認可を受けた産業廃棄物業者に委託する。
金属成分についてはﾘｻｲｸﾙ可能。

14. 輸送上の注意

国連番号	非該当
海洋汚染物質	非該当

輸送の特定の安全対策及び条件

運搬に際しては転倒、落下、損傷が無い様に積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

15. 適用法令

労働安全衛生法	施行令第18条の2　322 すず及びその化合物 施行令第18条の2　411 鉛及びその無機化合物 施行令第18条の2　632 ﾛｼﾞﾝ 鉛中毒予防規則第1条
PRTR法	第1種指定化学物質　政令番号304　鉛 33%
その他法令	大気汚染防止法 施行令第1条（有害物質） 鉛およびその化合物 水質汚濁防止法 施行令第2条（有害物質） 鉛及びその化合物 下水道法 施行令第9条の4　鉛及びその化合物 土壌汚染対策法 施行令 第1条の19 鉛及びその化合物

16. その他の情報

参考資料	JIS Z 7252 GHSに基づく化学物質等の分類方法 JIS Z 7253 GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法 -ラベル，作業場内の表示及び安全データシート(SDS)

この情報は改定日時点での情報を元に作成したものです。
正確を期していますが、保証するものではありません。個々の使用に対する使用条件や製品の適正な注意喚起や安全な取扱いを行って下さい。
この情報の使用及び使用結果については使用者の責任とさせていただきます。